

## 自立活動「スポーツを通して2つの世界を知る」学習指導略案

### 1 対象

聴覚障害学生（高等部も可）

### 2 指導の形態

通常教室

### 3 指導の目的（必要に応じて、個人の目標も設定）

- 1) 一般スポーツと聴覚障害者がするスポーツ（ろう学校の部活も含む）の両方を経験した聴覚障害のあるアスリートの事例を紹介する。
- 2) 聴覚障害のある人が一般スポーツに参加できる方法について考えさせる。

### 4 指導にあたって

・一般学校で教育を受けてきた（インテグレート）、聴覚障害のある山崎望選手が競技（一般）スポーツを始めたところからデフスポーツに関わるようになる経緯をまとめた動画を用いる。

### 5 本時の展開

過程	学習活動	指導・支援内容（留意事項及び配慮事項）	評価の観点
導入 10分	まず、デフリンピックについて紹介する。	動画①視聴（デフリンピック） また、スライドでデフスポーツの種目などを紹介する。	動画やスライドに興味を持ち、集中して見ているか【観察・関心】
展開 25分	動画を見て「デフアスリート」について知る  動画を見ながらワークシートに記入する ※動画の中のタイトルごとに一時停止	動画②視聴（山崎望選手インタビュー） 1. デフスポーツに関わるまで[2分20秒] ・バレーボールを始めたきっかけ（40秒） ・きこえる人とのコミュニケーション方法（1分40秒）  2. デフスポーツとの出会い[6分10秒] ・デフバレーボールとの出会いと印象（1分） ・手話に対する抵抗と葛藤（2分） ・逆導入について（1分30秒） ・山崎選手にとってのデフバレーボールとは？（30秒） ・今後の活動について（1分10秒）  ※動画にある、山崎選手の行動と心理面の変化に着目する。	動画やスライドの内容をしっかりと理解できているか【考察】
まとめ 10分	ワークシート③ 自分なら一般スポーツとどのように関わるか、考えを書く。 書いたことを発表し、みんなで話し合う。（話し合ったことをまとめる）	話し合ったことを板書する。	自分の考えをまとめてきちんと発表できたか、他者の意見をきちんと聞こうとしているか【発表・議論】

## 6 参考・引用文献または Web サイト

### 【スライド資料】

全日本ろうあ連盟, <https://www.jfd.or.jp/sc/deaflympics/games-about>

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会デフリンピック啓発ウェブサイト「デフリンピックの概要」

### 【動画①】

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会デフリンピック啓発ウェブサイト「速報動画 (Youtube)」

<https://www.jfd.or.jp/sc/samsun2017/newsflash>

### 【動画②】

山崎望氏「デフスポーツと関わるまで」, ろう者学教育コンテンツ開発プロジェクト, ろう者学教育コンテンツ映像アーカイブ

<https://www.deafstudies.jp/info/vidarc-ds/>

作成：平井 望・門脇 翠, 2017 年

編集：ろう者学教育コンテンツ開発取組担当